

あなたの家は都市鉱山！？ 使用済小型家電リサイクルの推進へ向けて～福岡市の取り組みと実態調査～

環境科学課 岡本 拓郎・荒巻 裕二・前田 茂行

令和元年度県内保健環境研究機関合同成果発表会

福岡市では、平成 25 年 8 月から市内約 60 箇所に回収ボックスを設置し、使用済小型家電回収の取り組みを実施している。回収ボックスの効果的な運用を検討するため、回収ボックスの設置場所と小型家電の回収量との関係等について解析を行った結果、設置場所の業態により回収量に差が生じていることが分かった。

全ての年度において回収量が最も多かったのは「複合商業施設」で、一方、最も少ないのは「大学」であった。どの大学においても回収量が少ないことから、大学についてはイベント開催時に回収をするなど回収方法を検討する必要がある。また、人目につきやすい動線上への設置、ほかの資源物回収との併設などが回収量を増やす重要な要因と考えられた。

これらの調査結果を踏まえ、今年度から大学でのボックス回収を見直し、不特定多数の人が反復継続して利用する総合図書館にボックスを設置するなど、現状の設置数で回収量を増やしていけるようボックスの再配置を行っている。また、小型家電リサイクルをテーマとした出前講座において、不要な小型家電を自ら分解して資源性を実感してもらい、その後、期間限定で講座を行った公民館等の近隣施設にボックスを設置し回収を実施するといった新たな啓発にも取り組んでいる。